

第3回水稻病虫害発生予察状況の調査結果について

令和8年7月22日 兵庫県農業共済組合西播支所

佐用町内8ほ場（佐用3、上月2、南光1、三日月2）の水稻病虫害発生状況について7月22日に調査を行いました。いもち病・紋枯病が一部ほ場で確認されました。害虫はウンカ類・カメムシ類が確認されました。

1 調査結果（調査日7月22日）

◎生育調査結果

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本/株）	備考
コノホシ（三日月折口）	84.2	25.2	5/23 移植
白鶴錦（櫛田井之谷）	59.6	29.1	6/10 移植

◎病虫害調査結果

病虫害名	8ほ場の調査結果の概要	今後の対策
いもち病	5ほ場で確認されました。 うち、2ほ場は多く発生していました。	緊急の対策は必要ありません。 ほ場観察と栽培暦に準じた適期防除・管理に努めてください。
紋枯病	1ほ場で確認されました。発生数は少ないです。	
縞葉枯病	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
ウンカ類	7ほ場で確認されました。発生数は少ないです。	
ツマグロヨコバイ	6ほ場で確認されました。発生数は少ないです。	
ニカメイチュウ	調査ほ場では発生が確認されませんでした。	
カメムシ類	4ほ場で斑点米カメムシが多数確認されました。 うち、1ほ場ではイネカメムシも確認されました。	

（調査地点別の結果は別紙参照）

2 これからの管理について

① いもち病

前回調査時に比べ多く発生が見られたため、こまめにほ場を観察し、基幹防除に努めてください。

② カメムシ類

斑点米カメムシ対策として、出穂の2週間前までに畦畔等の草刈りを実施し、本田のノビエは早めに抜き取りましょう。

イネカメムシが確認されましたので、これまで被害のあった地域等は引き続きご注意ください。

（参考）推奨薬剤：スタークル液剤 10

時 期：1回目（不稔対策）：出穂から穂揃い期、（粒剤の場合は出穂前に施用）

2回目（斑点米対策）：1回目散布から7～10日後

次回の調査予定日：令和8年8月18日（火）です。